

## 事業の概要

当社グループの事業は、ミニチュア・小径ボールベアリングやロッドエンド&スフェリカルベアリング、ファスナー及びピボットアッセンブリーを主要製品とする機械加工品事業セグメント(当会計年度売上高比率42.6%)と、ハードディスクドライブ(HDD)用スピンドルモーターやファンモーター等の精密小型モーターを主要製品とする回転機器事業セグメント(同36.3%)、液晶用LEDバックライト等の光デバイス関連製品、インバーター及び計測機器を主要製品とする電子機器事業セグメント(同15.1%)、PC用キーボード、スピーカー及び特殊機器を主要製品とするその他事業セグメント(同6.0%)により構成されております。

製品開発は、主に日本、ドイツ、タイ及び米国で行っております。生産は日本、タイ、中国、米国、シンガポール、マレーシア、カンボジア、ドイツ、チェコ及び英国などで行っております。当社グループ最大の生産拠点であるタイの生産高が連結生産高に占める比率は51.9%(当会計年度)であり、これに次ぐ中国での生産高は21.2%(同)です。日本を除くアジア全体の生産高は78.5%(同)であり、海外全体の生産高は91.1%(同)です。

当社グループ製品の主な市場は、PC及び周辺機器(当会計年度売上高比率28.4%)、OA及び通信機器(同20.9%)、自動車(同11.0%)、航空宇宙(同9.4%)、そして家電(同7.3%)などです。これら製品のメーカーである当社グループの顧客は、日米欧のほか中国を中心にアジアで生産を拡大する企業が多いため、当社グループの地域別売上高は中国(香港を含む)が最も多く、連結売上高に占める比率は24.4%(当会計年度)、次いで日本が23.5%(同)、タイが13.4%(同)、他は米国、欧州等となっております。

当社は製品群ごとに事業本部を設け、事業単位で製造部門と営業部門が一体化した「事業本部・事業部」を縦の組織とし、これら組織にその機能に応じて側面から支援する「部門」を横の組織として事業運営を行ってまいりましたが、2012年5月21日に上記の組織機構を改変しました。組織改変に伴い、各事業本部を製造本部へ改称すると共に海外モーター事業本部を新設し、また、事務管理機能組織を3部門に再編しました。これにより当社の組織は、5製造本部と1事業本部、これらに所属する16事業部、さらにこれを支援する4部門、事務管理機能組織として3部門という構成になっております。従来の「事業本部・事業部」が所管していた営業機能を営業部門へ移管し、製造と営業が並列で機能を発揮する機構とすることにより、市場変化のスピードにより柔軟に対応し、機動的かつ戦略的に事業を推進してまいります。海外モーター事業本部においては、2012年5月のモアテック社の株式取得により新設された「モアテック事業部」の他、海外のモーター事業を所管し、事業シナジーの拡大をはかります。また、事務管理機能組織では、再編を通じてより効率的な業務遂行を追求してまいります。

## 戦略の概要

当社グループは、「超精密加工技術」を駆使した「垂直統合生産システム」や「大規模な海外量産工場」そして「整備された研究開発体制」を世界各地で展開し、「ものづくりで勝てる会社、技術で勝てる会社」を目指して収益性を高め、企業価値を引き上げることが目標としております。

さらに、部材調達が多様化を図るため、新たなサプライチェーンの体制を構築し、急激な需給変動への対応と資金効率の向上を目指してまいります。これらを実現し持続的成長を果すための当社グループの成長ドライバーは、「新製品の開発」「既存製品の改良」「生産技術の絶え間ない改善」等に加え「当社グループの縦と横の総合力の発揮」「M&A・アライアンスを通じた企業価値の拡充」にあります。

1. ボールベアリングでは、成長力の高いミニチュア・ボールベアリングの生産能力強化と新製品の開発による新たな需要の創出と拡大を図ってまいります。また新興市場向けの生産、販売にも注力するとともに、激変するビジネス環境に対応した高収益の事業のさらなる拡大を図ります。
2. ハードディスクドライブ関連市場の需要に対応するため、市場拡大に沿った形でピボットアッセンブリー及びボールベアリングの増産を進めます。
3. HDD用スピンドルモーター事業において、市場の需要に応え、新製品の開発を進めるとともに、増産と原価低減により、業績の改善に努めます。
4. 需要拡大が見込める航空機用部品の一層の拡充を図るために、世界的な事業戦略を策定するとともに、既存のロッドエンドベアリングの基礎技術力を向上させます。また、引き続き高度な加工技術を駆使した航空機向けメカパーツ分野への展開を進めてまいります。
5. 液晶用LEDバックライト事業は、スマートフォン及びタブレットPC向けの増産と自動車市場向けの拡大を進め売上と利益の増加と安定を図ってまいります。
6. 精密小型モーター事業を更に拡充し、ベアリング関連製品と並ぶ柱に育ててまいります。また、2011年に設置したカンボジア工場への小型モーター組立工程(マイクロアクチュエーター、DCブラシ付モーター等)の移管を進め、増産と原価低減による収益力向上を目指します。
7. 高付加価値製品の比率を引き上げると同時に、製品の幅を広げ、より広範囲な市場に対応できるようにしてまいります。
8. 絶えず事業ポートフォリオの再構築を検討し、製造、営業、技術、開発の領域を越えた総合力の発揮により、「価格対応力」と「顧客要求対応力」の強化に努めます。
9. 電子機器製品技術と機械加工製品技術の融合を進め、新たな「複合製品」を開発することで、医療分野等の新しい市場を開拓し、売上の増加を図ってまいります。
10. 聖域なき経費削減に積極的に取り組み、企業体質の強化を進めることで、将来の飛躍に対応するべく準備を進めます。
11. 地域的なリスクを軽減するため、常に最適生産地の検討を行い、複数地域生産にも対応するべく準備を進めます。
12. M&A・アライアンスを通じて企業価値の拡充を積極的に図ってまいります。  
(本戦略の実現を目的として2012年2月2日付で、株式会社日本政策投資銀行と共同投資等に係る業務・資本提携契約を締結いたしました。)